

<人吉球磨地域／商工業団体>

日 時：令和2年11月3日（火）13時00分～14時30分

会 場：球磨地域振興局2階大会議室

参加者：15名

【発言者①（人吉商工会議所）】

皆さんこんにちは。人吉商工会議所の〇〇でございます。

人吉は観光の町でございますので、観光客をいかにして呼び込むかが一番大事なことと思いますが、球磨川下りと鮎釣りがメインでございまして、これを有効にするためにはやはり、ダムが、皆様はどう思われるか知りませんが、調整ができるのならダムは必要でないかなとは思っています。

しかし、水量は今までのとおりに、夏に鮎掛けができるように、球磨川下りができるような水量を常に出していただくような方法で考えていただかなければいけないんじゃないかなと思っておりますので、そう考えております。

また、個人的に考えますと、やはり今度の水害は特別な現象だろうと思えます。ですから年々、温暖化で上がってくれば日本中どこでこういう水害が起きても不思議じゃないというふうに私は考えております。

ですからそれを考えながら、ダムの建設をされるなら水量を改めて研究していただければ良いんじゃないかと思えます。

それと球磨川の泥とか砂利を排除するにいたしても、球磨川下りができるような態勢で考えていただきたいなと思えます。

また、漁業組合の方々が大変心配されていると思いますが、やはり、人吉は尺鮎の名所でございますのでそれも含めて考えてください。よろしく願いいたします。

今後いろんな、会議に参加しながら取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく願いいたしまして、あいさつといたします。どうもありがとうございました。

【発言者②（錦町商工会）】

皆様、こんにちは。錦町商工会の〇〇と申します。よろしく願いいたします。

現在、意見聴取会において川辺川ダムの建設については様々な意見が出ておりますけれども、地域住民が災害に遭わない安心して暮らせる場所の確保というのが一番大事ではないかと思っております。

また人吉球磨の商店街、各事業所が早く復興することを望んでおります。

人吉・球磨は、川辺川、球磨川、温泉、相良観音の歴史のある文化が観光にあ

りますので、観光客が早く多く来ていただけるよう精一杯の協力をするべきではないかと思っております。

また、ダムを造るとなりますと、どれくらいの年数がかかるのかわかりません。数十年かかる場合もあります。そういうことでは現在は遅いと思っております。

ですので、まずはじめにやるべきこと、川の土砂撤去、堤防のかさ上げなど早くできる部分から取り組んでいただければと思っております。

様々な意見を聞かれ、最善の方法を出していただきたいと思っております。

また、計画につきましてもこの1、2年また5年後、10年後、20年後という短期、中期、長期の計画を出していただき住民が納得するような方策をとっていただきたいと思っております。

また、最後になりますけれども肥薩線、くま川鉄道の復旧復興をぜひお願いしたいと思えます。以上です。

【発言者③（多良木町商工会）】

多良木町商工会事務局の〇〇と申します。本日は会長が所要のため、出席が叶いませんので、私のほうから発言をさせていただきます。

多良木町の皆様はご存知のように、球磨川と川辺川の合流地点からかなり上流でございます。

加えまして、川辺川のダムの建設の是非につきましては発言をする立場ではないと考えておりますけれども、球磨川本流の治水対策につきましては大きな影響を受ける地域でございますので、その観点から少し意見を述べさせていただきます。

さらに7月4日に発生しました豪雨災害で、多良木町におきましては球磨川沿いの地域を中心に複数の商工業者が被災されまして、被害額は約1億円を超える状況でございます。

しかし、もし、上流部にあります市房ダムがなかったとしたら、水位はかなり上昇して、商工業者のみならず、農林業や地域住民の方々を含め、被害は甚大なものになったのではないかと推測をしております。

引き続き、市房ダムによる洪水調整機能を維持していくためには、ダム湖の浚渫や予備放流、ダム下流部の河床掘削、堤防のかさ上げ、さらに申し上げれば治山対策を含め適時適切に実施していくことが重要ではないかというふうに考えています。

私どもの会の〇〇さんであります、家族はかつて熊本県内水面漁業協同組合連合会の〇〇をしておりましてけれども、この漁連の全国会議の席上、治水対策のあり方について意見を求められた際に、河川の最上流部に巨大なダムを造って、それで灌漑や飲料水、それから電力を得ながら洪水調整を行うということ

が重要であると、下流部に複数の小規模なダムを建設するということはむしろ河川そのものに悪影響をもたらすというような発言をしまして、出席者の方々も大いに賛意を示されたというふうに聞いております。

市房ダムは全くそのような位置づけのダムではございますので、今後とも多良木町をはじめ、市房ダム下流部で暮らす商工業者をはじめとする住民の財産や生命を守るために、市房ダムを中心とした総合的な治水対策を適時適切に講じていただきたいと思いますと考えております。以上でございます。

【発言者④（水上村商工会）】

水上村商工会長の〇〇です。

今回の7月豪雨によりまして、人吉球磨地域に甚大な被害をもたらしました。

水上村でも約300件、30億円の被害が発生しております。復興にかかわる観光振興については今まで人吉球磨一体となって推進されてきておりますが、今回の豪雨によりまして中心である人吉市が多くの被害を受け、復旧復興にはまだ時間を要すると感じております。

しかしながら、人吉球磨地域には日本遺産認定の文化財も数多く存在し、被害が少なかったところや復旧が進んでいるところなど、誘客により経済も動かしていかなくてはならないと思っております。

本村の商工会には旅館や民宿など観光関連産業の会員さんも多く、コロナ禍と相まって観光客が激減し、悩んでおられます。

水上村といいますと、市房山があり人吉球磨地域でもシンボリック的存在だと認識しておりますが、本村の豪雨被害のなかで市房山キャンプ場から登山口にかかる祓川橋と申しますが、こちらの橋が流出し、登山やセラピーロード散策などできない状況になっており、現在も入山禁止が続いております。

人吉球磨地区の観光はできるところからでも進めるべきと考えます。

ぜひ、人吉球磨のシンボルである市房山にかかる橋梁の整備をできるだけ早くお願いしたいと思っております。

また、発災から4か月が過ぎようとし、事業所や家屋などの復旧が進んでいくものと思っております。

大きな施設となりますと、設計を委託し施工というような流れになると思いますが、被災したエリアも広いことから熊本市や福岡県など隣県にお願いすることもあると思います。

そうなりますと、施工も設計業者も取引のある業者ではない。郡市内の工務店や大工さん、それに関係する業者さんの方々などには依頼がこない可能性があると考えます。

同じ痛みを感じている郡市内の業者をできるだけ選定いただければ、復興に

関する経験や知識を得ることもできますし、また、いつどこで起こるかかわからない災害に対しても備えができるものと考えます。ぜひ、ご配慮をお願いできればと思っております。

また、水上村には市房ダムがあります。約60年前に完成し、当時役場や中学校などがあった村の中心部はダムの湖底に沈んでおります。ダムを中心に3つの地区に分断され、現在までダムと一緒に暮してきた歴史があります。

そのような中、テレビや新聞などで時おり市房ダムの存在を否定されるような言葉を耳にするたびに心が痛む思いでした。先ほども説明がありましたが、洪水調整を行い、洪水被害の軽減や緊急放流などの正確な言葉の意味も含め、さらに様々な手段を利用して理解を深めていただければと思っております。

今回の災害では、治水にかかるダム問題がクローズアップされております。大切なのは被災された方々の考え、思いが重要だと考えます。

できるだけ早く方向性をお示しいただいて、それに伴い人吉球磨一体となって復旧復興を進めていかなければならないと思っております。意見は以上です。ありがとうございました。

【発言者⑤（相良村商工会）】

相良村商工会の〇〇でございます。よろしく申し上げます。

このたびの災害におきまして村内でも多数の被災者が出ました。

幸いなことに人的被害というのはなかったのですが、商工会会員を含め多数の被害が出たということでございます。

今、現在でありますと会員の商売のほうは再開はしておりますが、数カ月がたちまして、二次災害的な数で、人吉を中心に取引先のほうが間に合わないということで、さらなるは取引先が回らないということで従業員を含め、このままでは立ちゆかないのではないだろうかというふうな不安が発生しております。

また、会員の皆様方の意見を聴取しますと、先日、村の相良村復興委員会というのが設置されましたが、この中でどのように復興していくのだろうかという意見を取りまとめようとしたけれども、なかなか川辺川の治水対策がはっきりしないと、どうやって再開していいのかがかわからない、まずは治水対策をはっきりお示していただきたいという意見がありました。

今、いろんなことで話題になっておりますけれども、治水対策にはいろんな方法があると思います。

環境面、また生命、財産を守るための全ての方面に100%という治水対策というのは難しいと思っておりますけれども、相良村商工会といたしましては、知事をはじめ熊本県が決断しました治水対策に対して協力をしていく覚悟でございます

ので、早急の対策の決定をよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

【発言者⑥（五木村商工会）】

五木村の〇〇です。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回の7月の豪雨災害の被災地の声をお聞きする会に発言の機会をいただきありがとうございます。

五木村では人的被害はございませんでしたが、家屋への土砂の流入とか一番ひどかったのは道路の被害、生活用道路とかそういったものの被害が大きくて、住民として困ったことは道路の寸断により物資の流通、確保。219号で球磨村人吉間の道路が壊れた。それから五木の主要道、県道である25号線が寸断されました。

そこでやはり、この25号線の改良として、219号の代わりに25号線があったら、もうちょっと早く復旧ができたんじゃないかなと思っていますし、この改良をぜひお願ひしたいと思っています。

それは五木村側でも八代側もそうなんですが、急カーブが多くて道路の幅が狭いものですから大型の車も通りません。県としては改良が済んだとおっしゃっていますけれども、ぜひこの改良は急いでもらいたいと思っています。

それから個人的なことなんですが、給油所を営んでいるんですが、うちのスタンドは災害対応の指定を受けているので、燃料を減らせることができなかったんですが、早く燃料が切れそうになったものですから、そういった対策のためにも、村の対策のためにも道路の確保をぜひお願ひしておきたいと思っています。それには、国がやっている国土強靱化計画に載せていただければ幸いかと思っています。

五木村では中心がすり鉢状のところに家、道路がありますので本当に人口が皆さんご存知のとおり、熊本県で一番少ない1,000人弱の人口でございますので人がいません。

本当に人を、どうにか戻していただきたいというか、増やすような振興策をしていただければと思っています。

熊本県におかれましては、平成20年に五木村振興計画をさせていただいたんですが、なにせ少子高齢化、それから今年のコロナの関係で本当に小学校も全校生徒で30人を切っておりまして、中学校も30人を切っております。

そういった状況でありますので、ぜひ流域の安心な暮らしをとり戻すため、流域の治山治水をぜひ推し進めていただきたいと思います。

私も還暦になります。私が物心付いた頃、ダム問題が出てきて、ダムが出来るということになり、そして途中で中止になり、こういった状態になっております。ぜひ、早くダムには結論を出していただきたいと思います。よろしくお願

いたします。

最後に、五木村も一つの自治体ですので、先日大阪市というのが住民投票でなくなると決まりました。五木村もぜひ、歴史から村という名前が消えないようお願いをしたいと思います。以上です。

【発言者⑦（山江村商工会）】

山江村商工会の〇〇といいます。山江村は球磨川の支流の山田川と万江川という二つの川がありまして、今回は、一応万江川のほうに被害が集中しまして、件数的には、11件くらいの浸水になるんですけども、他の町村に比べたら僅かなんですけども一応被害はあっています。

県道坂本人吉線は災害時は2か所で道路の崩壊がありまして、完全通行止めになりまして、水道管も流されまして断水が続きます、それと万江の大川内という地区があるんですけども、そこは孤立しまして、自衛隊のヘリで役場のほうに搬送されました。

メディアでもあまり山江村というのは扱われないんです。ちょっと熊日新聞には載っていたんですけども、私は万江地区の淡島というところで個人商店をやっています、被害が店舗と住居が流されまして、村外の仮設住宅でお世話になっています。今、山江村には25戸の仮設がありまして、実際に被害を受けた方は、先ほどいったように11件くらいなんですけれども、そのほかの方は大川内とか、まだ水がこないとかで今仮設におられます。

その辺のインフラ的な整備を早急にしてもらいたいと思っております。

これは県の仕事か村の仕事か、私はちょっと詳しいことはわかりませんが、この辺をお願いしたいと思います。

うちの前の県道坂本人吉線は100メートルくらい陥没しまして、今仮設道路なんですけれども、上のほうの100メートルくらい、アスファルトを貼りまして、もう昔の昭和30年代の道のような感じで、雨が降ったら水がたまるし、乾いたらホコリがすごいし、ものすごく住みにくい感じなんですけれども、こういうのがあと何年か続きますと、もう今でも過疎化が進んでいるんですけども、ますますこれが進んで、やはり万江地区全体の問題でもありますし、私たちがみたいな商業の仕事をする者にとっては大変マイナスではないかと思っております。その辺をよろしくをお願いしたいと思います。

最後に、熊日新聞に載ったんですけども、防災というハードの面だけじゃなくて、減災というソフト面でそういう考えもあると見ました。

この復旧・復興のときに、そういう考えの施策も取り入れてもらったら、どうなのかなと思っています。以上です。よろしく申し上げます。

【発言者⑧（球磨村商工会）】

球磨村商工会の〇〇でございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

できますればこの資料の5ページをお開きいただければと存じます。

あくまでも一個人の意見としてお聴きいただければと思います。

この写真の中央に「相良橋」と「球磨川第二橋梁」がありまして、「①」、「②」と番号がうってありますけれども、ここが茶屋地区というところでございます。私はここで生を受けて、現在まで69年間生活をしてまいりまして、昭和40年、57年と大水害を経験しております。また、国交省の方々も努力をいただきまして、堤防はもちろんでありますけれども、導流堤の建築、内水ポンプの配置、また国道219号の橋梁かさ上げと、本当に頑張っていただきました。

本当に感謝をしているわけでありまして、そういった中でもこういった大きな災害が発生するわけございまして、その対応として河道掘削とか出ておりますけれども、本当にそこまで物事を考えているのかと思うわけです。

この写真の「52k」と書いてあります、右下に。これから下の球磨村のことは、ほとんど上がってきません。これから下は河道掘削もできない、川幅を広げることもしない。そういう状況が球磨村なんです。

また球磨村は、木の葉のような葉脈が、いっぱい谷が走っているわけです。そこの災害も今回、大きな災害として発生しているわけです。

そういったことで、河道掘削もいわれまして、本当に地質を、人吉からずっと渡まで、何メートルというような地盤が川底に通っているわけです。

そういったことも本当にできるのかなと、私はいつも思うんですが、そういった地質を真剣に考えていただいているのか、私は疑問に思うわけでございます。

そういった中、こういった災害が発生したわけでありまして、この浸水地域においても、やはり安全指定区域の指定とか、そういったことも必要ではなからうかなと私は思っているわけです。

また、球磨村においても多くの橋が流されておまして、その相良橋の上流のほうに沖鶴橋があるんですけども、その橋と相良橋、二本使って対岸の三ヶ浦地区の生活が成り立っていたわけでありまして、そういったことももうできなくなっております。

渡から三ヶ浦に行くにしても一勝地まで行っていく。5分で行けたのが、30分、40分かかって生活をしているわけです。

そういった早い対応ができないものか思っているところで、それはどこかといいますと、人吉の大柿から水俣線がまだ完成しておりません。そういったところの早期着工も進めていただければなと思っているところです。

本当に感謝をしております。

今回、渡地区は千寿園というホームがあって、そこでも14名の方が亡くなっ

ておられます。でも、手落ちはなかったと私は考えております。

そういったことで、今回のこういった災害が起きるのは、やはり地球規模の異常気象とか、温暖化が懸念されるわけでありますので、今後もそういったことを考えていただいて、やはり対応していただくことは大事かなと思っております。

私も本当にこの渡地区で生活をしておりまして、なりわいが本当に成り立つか不安で仕方ありません。

本当に国も県も一生懸命いい事業を提案していただいております。新持続化補助金とか、なりわい補助金、でもそれも締切りがあるようでございますので、できますればそういったのをまた新たな提案とか、申し込み期限の延長とかできないものか、どうかよろしく願いしたいと思っております。

本当に遊水地案も出ているわけでありますけれども、本当に私のいる渡から上流を見た場合、人吉市全て浸水したわけでございますので、その浸水したところを遊水地と切り替えて見たときに、遊水地が本当に成り立つのかなと、その遊水地をどこに造られるんだろうかと不安で仕方ありません。

遊水地を語られるのであれば、ここに造りますといわれるか、ここに出来ますよとか、そういったことも具体的に挙げていただければ地域住民の安心につながっていくのではなかろうかなと思っております。

どうかよろしく願いいたします。以上です。

【発言者⑨（人吉物産振興協会）】

物産振興協会の〇〇です。

人吉市の物産の会員も、半分以上ちょっと水没しまして、高齢化もありまして、若い人がおいでのところは早急に復旧されて、もう稼働されているところもあるんですけれども、なかなか高齢化でどうしようかと本当に悩んでいらっしゃる方が大分多いです。

先の熊本地震で、蒲島知事ほかの幹部の方が奮闘されて、復興されたのを人吉球磨でもぜひやりたいですので、細かなご指導をしてもらいたいと。市のメンバーも、市町村のメンバーも、どうやっていいか今途方に暮れている状態なので、どうやって復興したらいいかというのがわからないのが本音です。

それと、復興するための資金とかが特に不足してしまして、どうやって復興したらいいかというのがもう本当にわかりません。援助的なところも、ぜひともご指導してもらいながら、女性ばかりなもんで本当、申請の仕方もわからない人がほとんどです。

そういうところをご指導してもらいながら、どうにか立ち上がろうと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

【発言者⑩（球磨焼酎酒造組合）】

〇〇でございます。このたびは我々の業界も3軒ほどが壊滅的な被害がっております。

あとは蒸留酒の蒸留のカスを処理する工場も被災いたしましたので、間接的には組合全体が被害を受けたということになるだろうと思います。

その中で行政、特に県のほうからも非常にスピーディーな支援いただきまして、お礼申し上げます。

実は私のところは、今のところ400年続いているといわれるところに生まれ育ちました。そんなときに、ここが浸かったときは人吉の町は全部浸かるだろうと言われました。

ところが、今回私どものところまで浸かりましたので、どれほど大きな水害だったかというのはご想像いただけたと思います。

そんな川の側に育ちましたので、私にとっては球磨川は母なる川、とてもとても美しい川でした。下流にダムが出来るまでは、球磨川の水は飲めておりました。それから子どもたちが川に飛び込むと、足で魚を踏んづけるというそんな経験がない人がいないぐらい、そういうふう生き物も豊かな川です。

川辺川も近頃は濁流の中にある、汚泥がどんどんたまりまして、これは水害以前からもここ4年ほど、さまざまな上流から流れてくる泥のおかげで汚れております。

ましてや鮎に必要なこけなどは育つはずもなく、釣り人達も嘆いています。

そんな中で、今回の水害に私の周りも相当遭いましたけれども、今すぐダムを造る。

今、この目の前のことをどうしていいかわからない時期に、ダムの話などとてもないというのが周りの意見です。

ダムにつきましてはこの地域でもその是非を巡って、長い長い論争がありましたけれども、なぜ今すぐダムなのか。

それから被災した方たちのほとんどが、私の周りですから20人ぐらいお考えいただきたいんですけども、ダムが欲しいとは言っていないんです。

その他の方法はないのか。当然、これまでは橋の高さ、堤防の高さ、全部計算で防災のために造られておりますけれども、今回の自然はそれをやすやすと超えてきました。

従いまして、またそのダムというのが計算されたものが安全であるというふうには誰も思わないというのが本音です。

もし、人吉が観光で日本一になるとすれば、私どもは元の球磨川に戻してほしい。清流がいつの間にか溝になり、それがいつの間にかドブになるというのは耐えられないと思っております。

ダムに頼らない治水というものをぜひお考えをいただきたいと思っております。以上です。

【発言者⑪（人吉球磨食品衛生協会）】

人吉球磨食品衛生協会を代表しまして、被災者の方々の意見を述べさせていただきます。

私ども人吉球磨食品衛生協会には、1, 260名ほどの会員さんがいます。

そのうち半数近くが人吉近隣に集中し、被災状況は人吉地区の許可施設500件のうち、250件以上です。

球磨村におきましては許可施設40件のうち、6件ぐらいしか残っておりません。それが現況です。

あの豪雨災害から、4か月が過ぎました。たくさんのボランティアの方々のお手伝いや物資支援、励ましの言葉など、ありがたかったことや辛い胸の内を話してくださいました。

その中で各事業所の方々は、営業施設の改築が進まない中、日常を取り戻そうと一層必死に奔走されています。

建物は残っていますが、カビ、臭いはひどく、解体しないといけない状況で営業再開の見通しは立たないとのことでした。

特に、賃貸型の飲食店営業の方は再開したいが物件がなく、嘆いておられます。

生活するためのほかの仕事を探しているけれども、なかなか仕事も見つからない状況だそうです。

豪雨災害や新型コロナウイルス感染症に伴う影響もあり、廃業件数も増え、私ども協会の運営も非常に厳しい状況です。

本日のテーマである治水対策のあり方については直接参考にならないかもしれませんが、今回の洪水で店舗や住宅等被害を受けられた協会会員の方々も多く、皆さんが安心・安全に暮らせるような治水対策をお願いしたいとのことでした。よろしく申し上げます。以上です。

【発言者⑫（社交飲食業生活衛生同業組合人吉支部）】

今回の水害で、ちょうど球磨川と山田川の間地点に飲食業のお店がたくさんありまして、今回の水位が高く、ほとんど営業できない状態になってしまっていて、なりわいとか持続化補助金とかいろいろありますけれども、それも使えない状態なので、ほかの支援をお願いしたいなというのが皆様の希望でした。

それと個人的にですが、私も山田川の堤防沿いに自宅がありまして、3メートル浸かったのですが、半壊に認定されました。

お店も天井まで浸かって2メートル50だったのに半壊、木造の方は1メー

トル80も浸かれば全壊。その差は何だったろうかと。水だからみんな流れるのも、壊れるのも一緒なのに、その差別は何だろうかと思って、何回もカルチャーパレスに行きましたけど、もう決まっていますからとか言われて、諦めたところではありますが、どうも腑に落ちないところがありまして、もう一回見直してほしいなという気持ちです。よろしくお願いします。

【発言者⑬（人吉東九日町商店街振興組合）】

本来なら代表理事の〇〇のほうがここに出席すべきだったんですけれども、今日はちょっと所用のために私のほうが出席させていただきました。

意見としまして、三つほど商店街のほうから挙げさせていただきたいと思います。

今回の水害で、九日町商店街のほうは全ての店舗・住居が被災しましたが、約7割の店舗がまた九日町のほうでお店を再開すると、復興を希望しております。

二番目に、治水問題につきましては様々な意見がありますが、まずは一刻も早く川底の土石の撤去を要望します。

あらゆる角度からの治水の検討のほうもお願いしたいと思います。

最後に三つ目ですけれども、世界一のスーパーコンピューター富岳に川辺川ダムを造った場合、今回の降水量を上回る水量を仮定して、市房ダムとの流量調整が可能かどうかのシミュレーションをしてもらいたいと希望します。以上です。

【発言者⑭（鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会）】

僕はまず、洪水後すぐに激甚災害に指定していただいたこと、それは本当にありがたく思っております。

それと迅速な復興、公明公正な給付金や補助金の運用ということで、本当に僕はよくやっていただいていると、政治と行政には心より感謝申し上げます。

被災者になって自分が初めて思ったんですけれども、どこまでが甘えていいのか、どこからが自分でやるのかという線引きが非常に難しいなということも自分も感じております。

鍛冶屋町通りは、ほとんどの皆さんが、おかげで残っていただけます。

うちよりひどかったところから、移って来られるお店もあります。空き物件を今探しておられるところもあります。

そういう人たちに、うちも被災したんですけれどもと、1メートル90ぐらい来ましたよという、やはり今いたところから遠く離れたくないと、近所で営業したいということをよく皆さん言われます。ありがたいことだと思っております。

それから今回の洪水で、僕が一番怖かったのは、水が来たときじゃないんです。その後に、県が市房ダムを放流するという話が来たときは、もうさすがに助からないと、本当に思いました。

これがもし市房ダムが放流する、そして川辺川ダムを放流すると、もしそういうことになるんだったら、一体どういうことになるんだろうかということ、考えずにはられません。

それと鍛冶屋町通りは20年前から住民協定をして、通りの景観を守る活動をしております。

それと県の無形文化財、うんすんカルタというのがあるんですけども、こういうものの復興をはかって、みんなで魅力あるまちづくりというのをやってきました。そのおかげで、年間何万人というお客さんが来ていただけるようになりました。

しかし、それもこれも世界的に魅力がある鉄道とか、世界的に魅力のある清流と、こういうものがあつたからこそ、そういうバックボーンがあつたからこそできたことだと思います。

だから今後は、〇〇さんもおっしゃるようにここは観光です。それからやはり地域づくり、これがどういうふうになっていくのだろうかということをお大変心配しております。以上です。

【発言者⑮（ゼンカイミート株式会社）】

今日はよろしくお願いします。

7月4日、朝5時半ごろ会社に既に行っていた人間から電話を受けまして、私が午後6時に家を出たときには、裏にといいますか、山田川のすぐ傍です。もう山田川が表面張力、目一杯というような状態の時でした。

車で錦町のほうにありますゼンカイミートに向かったところ、既に工場にかなりの水が浸水しておりました。

うちの社員は先ほど申し上げたように、管理者は4時、その後2名が5時半前には会社に行っておりました。それぞれ工場内の物を2階に上げようと、重い物ばかりなんで、ゼンカイミートは牛を屠畜、カットして、肉製品を作っている会社ですけども、そういった中で排水口から水が溢れ出して、逃げようと思ったときにはもうドアが開かないというような状態になっていたようです。

結果的に、8時10分前ぐらいがゼンカイミートの場所のマックス状態の水位の時だと思います。

私のほうは行っときながら工場に入ることもできず、どんどんどんどん上に行っている水を、待機しながらただただ、見ているしかない状態でございました。

物は球磨川のほうに流れて、ゼンカイミートはすぐ前に支流の鳩胸川があり

ます。通常だったらバックウォーター、球磨川の水位が強力なんで、バックウォーター現象で、水が入ってくることは結構ありました。

あとで思い起こせば、週末になぜか水が上がってくるとか、2年前の2018年7月7日です。私、携帯に撮っておりましたけれども、そのときも60センチは上がってきています。

だからそうやって、今思うに6月の下旬から7月上旬というのが鬼門かなと。

まさしく、九州だけじゃなくてどこもそうですけれども、線状降水帯がどうだとか、そういった状況にもあります。

町のほうも何年も前に、前の道を1メートル20センチほどかさ上げしていただいていたり、いろいろやってくれていました。

ただ先ほどの方も言われていましたけれども、今回そのようにゼンカイミートには、あとで実測したところ、4メートル10センチほど上がっておりました。

全て、機械は1階にございます。1階は全て浸かってしまいました。機械は使えないし、強いていえば土曜日だったんで、生きている牛が入っていなかっただけまだよかったなど。

一日ズレて日曜日だったら、月曜日に屠畜する牛が既に入っています。何ともしようがなかったろうなど。

ただ、そういった面で、先ほどいった3名が取り残されていたんですけれども、ダムでの放流がなかったということが、ゼンカイミートに限ってですが、人的被害がなかったことだけが、工場はほぼ全滅しましたけれども、唯一救いだったなど思っています。

結局、ゼンカイミートの話になりますけれども、あの地でいろんな治水対策、これから考えていっていただけると思うんですけれども、即座に復旧ができる状況にありません。

単純に仮復旧でもできれば社員の雇用をと思ったんですけれども、なりわい再建では、一時的にあそこで仮復旧するということになれば、衛生部局も認めたということになるだろう。それだったら新たな地でどうこうというのはかなわない。弊社の取締役会でも、やはりそのリスクを考えたら、この地に残ってやることは難しいだろうと。

ただ、誘致企業でもありました。錦町にも相談して、今考えているのは新たな地で、同じ錦町にはなる予定ではありませんけれども、工場を再建しようと考えていますが、いろいろハードルがあります。

社員をどうするかということで、今どちらかというところ5分の1程度は残しています。ほかの人間は3割ぐらい、もうちょっといるか、20数名、協力していただける会社に、出向という形を取っています。

やはり何とか生き延びるために協力いただいて、社員のほうも生活がありません。そういったなかで、七城町とか菊池市です。それと八代市、それからこっちの郡部になりますあさぎり町、それから鹿児島市、県外にも出しております。

そういったなかで協力会社に甘えながら、今は正直、甘えるしかないと思っておりますので、社員も球磨地域を出たことがない人間がほとんどです。地元の間が、ほぼ99%が地元の間です。

そういったなかで、菊池の七城町のほうでもそうですし、鹿児島市も宿泊先というか、アパートなりを見つけて、今そういう県外と県北の地域で頑張っているということです。

だからゼンカイミートがハラルを、ハラルというのはイスラム教徒に出せる食肉を出しているんですけれども、輸出も結構順調に伸びてきていまして、九州の中でハラルの認証を受けているのは、ここ熊本にあるゼンカイミートだけ。熊本県の企業として、プライドを持ってやっています。

だから認証関係もそうですけれども、何とか今回はゼンカイミートに瑕疵があって、こうなったわけではない。何もできなくなってしまいました。今は生産が一切できません。

だから今ゼンカイミートの旗をいつかはまた立てるぞという思いで、社員も遠隔地で頑張ってくれています。

そういった中で、私のほうから言わしていただければ、ダムに対して私が言及することはできませんが、やはり住民が安心してこの地で暮らせるような、冒頭で申し上げたとおり、紺屋町に住んでおりまして、町が真っ暗になりました。非常に寂しいです。

県外出身の私が言うのはあれですけれども、やはり人吉球磨地域というのは人吉市を中心として成り立っている地域だと思っています。

そういった意味で、観光をメインでやっていくというのが、今、肥薩線も含めてそうだと思っていますけれども、ホテルも大きなところとか、この資料にも写っていましたが大きなホテルも休業している状態だし、人のほうが集まらなくなっているということを考えると、まさしく何か一歩間違えれば廃墟だと思えます。

長くなってすみませんけれども、ゼンカイミートも月に一回工場直売というのをやっていました。多くの方に買い物に来ていただけていました。

ただ、ご年配の方が非常に多かったです。そういうご年配の方を見ながら、あの人が今月は来てないなとか、心配しながらずっと見ていると、縮図的にこの地域がますます高齢化が進展していくのではないかなという心配すらします。

だから若者が去っていかないように早く対策を打てるという意味からすると、基本は安心・安全ということをお願いしたい、そこに尽きます。

我々も、頑張って復興するようにやっていきます。

県のほうも、蒲島知事はじめいろいろ助言いただいたりとか、いろいろしているわけですが、ゼンカイミートもますます頑張って早急に立ち上げたいと思っておりますので、引き続きご指導のほどよろしく申し上げます。長くなって申し訳ありません。

【発言者⑩（球磨焼酎酒造組合）】

今回の水害の前まで、私はハザードマップを何回も見ておりましたが、非常に正確です。

200メートル離れただけでその差がはっきり示されておりました。

そういう意味で、先ほどの市房ダム、それからもし仮に五木のダムが出来たとして、実はハザードマップに近い正確なシミュレーションができると思うんです。そういったものを私共に見せていただきたい。

それからもう一つは、一番下流のダムですけれども、川というのは私どもも関わっておりまして、15センチほど上げただけで30メートル、40メートル上流に堆積物が驚くほどたまっています。

それからすると一番下流のダムが、この上流の数10キロのところで影響を与えていないはずがないと思います。

そういう関係も、科学的に解明していただいて、浚渫というのも一つの手でしょうけれども、この前は、最後のダムをどうするかということがありましたけれども、海岸線まで、土砂がこれまで流れてきたものが止まっていると思うんです。

ぜひ、一番下流のダムのこともご検討いただきたいと思います。

【発言者①（人吉商工会議所）】

今回の水害、非常に下の方たちは大打撃を受けていらっしゃいますから、やはり今の農振地区で水が浸かっていたところを後でよく調査していただいて、そこを農振地区から外していただければ、またそういうところに住宅を建ててなられる可能性もあると思いますので、検討してみてください。よろしく申し上げます。

（以 上）